「御獄神社」

この神社は、以前もっと山の上にあったが、参拝に不便なため、現在の位置に降ろした。最初の神社の跡地は畑となっている。さてその昔、江差からの帰りの舟が、親川の沖で遭難するということが度々あった。

ある時、親川の肝煎の四代目佐藤幸右衛門にお告げがあり、「御獄神社の跡地を畑にして、下肥などかけているのは宜しくない」ということであった。そこで最初の神社のあった跡地を一坪ゆずりうけ、祠を建てたところ、それからは海難事故はなくなったということである。